



# 校長通信

令和5年度 9号 令和5年6月26日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

## 《1学期末テスト終了！》

6月21日、22日、23日の3日間、期末テストを実施しました。1年生にとっては、初めての期末テスト。中間テストは、5教科でしたが、期末テストは9教科。たいへんだったと思いますが、その分、終わったときの喜びはひとしおだったのではないのでしょうか。テストも終わり、7月に入ると、夏の中体連の大会が開催されます。3年生にとっては、最後の大会。悔いの残らぬよう、練習に励んで欲しいと思います。

## 《毎日新聞の読者投稿欄より パートⅡ》

校長通信第7号で、毎日新聞読者投稿欄に掲載された「つらい期末テストがやってくる」を取り上げ、その中学生に架空の手紙で、私からアドバイスを送る文章を、通信に記載しました。そして、本校生徒も、その内容を参考にするよう促しました。6月22日の毎日新聞の読者投稿欄に、その中学生に、私とは全く違った観点で、アドバイスを送る投稿が掲載されていました。おもしろい内容だったので紹介します。

気付いた時が「学びの時」

英語講師 須藤 祐子

本欄14日の「つらい期末テストやってくる」の筆者、新名美空さん。私は英語講師をしています。期末テストがつらい気持ちは、私の生徒たちも全く同じです。安心してくださいね。

提案です。勉強を何もせずにテストを受ければいいのではないのでしょうか。学校では授業を受けられているのでしょうか？その授業だけでどの程度の点数が取れるか「検証するぞ！」という気持ちで臨んでみてはいかがでしょうか。

部活、友だち関係、思春期の到来。中学生生活は心の中が大忙し。思うようにタイムマネジメントができないものですよね。もちろん、学びに熱中する人もいますでしょう。それもこれも個性です。10代でわからなかったのに、40代で学びに目覚めることもあります。

学生時代に勉強することのメリットは多くありますが、それに気付くまで何もしないという方法があってもいいのではないかと思います。気付いた時が、本当の「学びの時」ですから。

毎日新聞 令和5年6月22日 より

勉強を何もせずにテストを受けたらよいという発想は、私にはありませんでした。新聞の読者投稿欄を読んでいると、色々な考え方や意見があることに気付かされます。何が正しい、間違いではなく、多くの意見や考え方に触れることは、自分の視野を広げる上でも、とても大切なことだと思います。本校の生徒たちにも、新聞を読んでもらいたいと思っています。

因みに、私は家で、読売新聞と The Japan News という英字新聞をとっています。実家は毎日新聞で、実家に頻繁に行くので、毎日新聞もよく読みます。学校は、朝日新聞と和歌山新報をとっています（職員室前の廊下の机に置いているので、休憩時間は生徒も読むこと可能）。ということで、私は5社の新聞に日頃触れていることとなります。インターネットも便利ですが、フェイクニュースもあり、信頼性は大手新聞に比べ格段に落ちます。新聞を読みましょう！

話は、戻りますが、須藤さんのアドバイスを受けて、私からのアドバイス。「気付いた時は遅かりし」とならないように気をつけましょう。「少年老い易く学成り難し」